

大きな夢をもち
本気でやってみよう



視点1

<五中学区学校教育目標>

郷土を愛し たくましく生きる子

三保一小 教育目標

三保二小 教育目標

自ら学び 高め合って
やりぬく子

ひとり立ちする子

軸となる取組

郷土愛・主体性・協働性を育む

三保・折戸学の推進

9年間の連続性、
系統性を強化した
教育課程の編成

視点2

協働・交流
のある教育

視点3

地域との連携

視点4

小中の一貫した
支援・指導の実践

子どもの実態

良さ・・・自主的に行動できる。素直でまじめ

<学習面>

- ・自主的に頑張ることができる
- ・協調性がある

<生活面>

- ・自分からあいさつができる
- ・自己肯定感が高まっている
- ・温かい人間関係がある

課題・・・主体性の伸長、コミュニケーション力の向上

<学習面>

- ・主体性、継続性
- ・論理的にまとめたり表現したりする力

<生活面>

- ・多様な集団の中で活躍できる力
- ・自分で解決する力

地域の実態

- ・学校を愛し、協力をいとわない地域住民・保護者が多い
- ・多くの学習「材・財」が存在する
- ・一人ひとりのニーズに対応した教育や、互いを尊重する意識の向上等、多様性に関わる課題解決を推進する必要性がある

郷土愛・主体性・協働性を育む三保・折戸学の推進

視点1

9年間の連続性・系統性を強化した教育課程

- (1) 郷土に学ぶ教育活動の展開
 - ① 三保・折戸のよさを感じ、地域を大切にする子
 - ・ 能学習（羽衣まつり）
 - ・ 折戸なす栽培
 - ・ 地域防災訓練への参画
 - ② 地域の人と関わり主体的に学ぼうとする子
 - ・ 三保の松原清掃への参加
 - ・ あかりともるよる
- (2) たくましく生きる子どもの育成
 - ① 夢や目標に向かって、粘り強く取り組む子
 - ② 誰にでも進んであいさつできる子
 - ③ 自分の力で解決しようとする子
 - ④ 確かな学力を身につけている子
 - ・ 基礎学力の定着

視点2

協働・交流のある教育

- (1) ふれあい高め合う異年齢交流の推進
 - ・ 中学校授業体験
 - ・ 部活動体験
 - ・ 体育祭の見学や参加
 - ・ 学校保健まつり
- (2) 一貫意識を高める研修会の推進
 - ・ 小中合同全体研修会の実施
 - ・ ミドルリーダー会の実施
 - ・ 学校公開、校内研修会への参加
 - ・ 乗り入れ授業

視点3

地域との連携

- (1) 地域の行事や活動への積極的参加
 - ・ 羽衣まつり
 - ・ 折戸まつり
 - ・ 三保松原清掃
 - ・ 地域防災訓練
 - ・ サンセットコンサート（吹奏楽部）
 - ・ 青少年育成大会
 - ・ 敬老会
 - ・ 児童館、交流館、みほしるべ等、各施設との連携
- (2) 小中一貫コミュニティ・スクール
 - ・ 学校運営協議会を設定し、「地域とともにある学校づくり」を推進する。
 - ・ 各校に学校支援部会を設置し、具体的な活動に取り組む。

視点4

小中の一貫した支援・指導の実践

<生活>

自己肯定感の伸長

- ・ 児童生徒の良さや頑張りを認める声かけや認め合う場作りを心がけます。

コミュニケーション能力の向上

- ・ 気持ちのよい挨拶や言葉遣いをします。
- ・ 呼名に対して「はい」と気持ちの良い返事をします。
- ・ お互いを「さん」付けて呼びます。
- ・ 思いをわかりやすく伝える力、相手の思いを受け止める力を付けます。
- ・ 行事の振り返り、お互いの頑張りを確認し合います。

<学習>

学びに向かう力の伸長

- (1) 主体的に取り組む姿勢を身につけさせます。
 - ・ 生徒の主体性を引き出す問い（学習課題・学習問題）を設定する。
 - ・ 子どもの実態や地域の素材から授業を構想する。
 - ・ ICTを有効活用する。
- (2) 協働的な学習の場を設定する。
 - ・ 問いは、色枠で囲み、全ての子どもが分かるように明示する。
 - ・ 相談タイムの設定、ホワイトボードの活用、学習形態の工夫などを行う。
- (3) 話す力、きく力、書く力を育成します
 - ・ 児童生徒の発達段階や特性に応じた指導と支援を行う。

<特別活動>

課題対応能力の伸長(困っていることを解決する力)

- ・ 困難を集団で受け止め、話し合いで解決策を探ります。
- ・ 継続した努力が解決につながることを体感できるようにします。